

2021年 「新生児聴覚スクリーニング検査」調査報告

(2021年1月～12月分)

新生児聴覚スクリーニング検査を実施いただいている機関の皆様には、いつもご協力いただきありがとうございます。

2022年3月に行いましたアンケート調査についてご報告させていただきます。

沖縄県の出生児数	14,694名	(沖縄県 HP より；2021年)
アンケート回収率	73.5%	(25施設/34施設 分娩施設)
対象児数	11,644名	
初回検査実施数	11,256名 (96.7%)	(全国 90.8%；2019年度 ^{※3})
検査未実施数	NICU 搬送	245名
	希望せず ^{※1}	188名
要再検査率 ^{※2}	3.1%	(全国 自動 ABR ^{※4} 1.4% , OAE ^{※5} 2.4%；2019年度 ^{※3})
初回検査の公費助成市町村 ^{※3} (2022年4月現在)	10市町村 (24.4%)	(全国 52.6%；2019年度 ^{※3})

※1 希望せず：検査を希望されなかった人数

※2 要再検査率：初回検査の要再検査率

※3 厚生労働省：2019年度「新生児聴覚検査の実施状況等について」より

※4 自動 ABR：Automated Auditory Brainstem Response

※5 OAE：耳音響放射（Otoacoustic Emission）

2021年に検査を受けた児は、対象の96.7%でした。2021年12月に厚生労働省から、すべての新生児が聴覚検査を受けることを目標とする基本方針が示されました。沖縄県においても、1人でも多くの児が検査を受けることができ、また要支援児を早期からサポートできるように、きこえの支援センターでは、引き続き市町村、実施機関の皆さまとともに事業を推進してゆきます。

2023年2月にも調査依頼を予定していますので、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

きこえの支援センター